

## 世界のサクランボ市場

FreshPlaza 2023年5月19日

北半球のサクランボのシーズンは、国によっては順調なスタートを切っているが、他の市場(南半球)ではちょうど終わったところだ。オランダのサクランボシーズンは高品質のスペイン産で始まり、需要と供給のバランスが取れている。ドイツ市場はスペインの産地からの供給不足を恐れているが、スペインからの報告によると、最近の温暖な天候は出荷を加速させるはずである。イタリアでは雨が降り続き、裂果が発生し、早生のサクランボの供給が限られて価格が上昇している。北イタリア、特にエミリア・ロマーニャ州では、悪天候が出荷の開始に影響を与えている。ギリシャでは今年は昨年の生産量を上回るサクランボの豊作を見込んでいるが、ヨーロッパ市場での厳しい競争にさらされている。南アフリカは実り多い出荷シーズンを終了した一方、北米のサクランボ産地は次のシーズンに向けて準備を進めている。(以下、一部省略しました。)

### ドイツ：大玉は希少

スペイン産のサクランボの収穫は今年、1～2週間遅れて始まる。スペインの核果類全体で、出荷量が少なく、特に大玉が不足している。トルコ産とギリシャ産が近年増加しており、スペイン産は主に価格差のために市場シェアを失っている。全体として、寒い天候は核果類の需要を鈍化させた。現在、春らしい天候が近づいており、需要の増加が見込まれる。

スペイン産のサクランボは通常5月から8月末まで出荷できるが、6月ないしは7月からのドイツ国内産の販売により、スペイン産の需要はシーズンの後半に著しく減少するのが常である。

### イタリア：大雨が早生品種に被害を与え価格が上昇

早生のサクランボは長引く降雨の影響を受け、著しい裂果が発生した。しかし、この生産上の問題は、商業的には有利な状況を生み出した。実際、損傷したサクランボの廃棄と悪天候による成熟の遅れにより供給量が制約されているため、早生のサクランボの出始めの価格はまだ高い。

イタリア北部の大部分、主にエミリア・ロマーニャ州では、過去2週間で大雨、雹を伴う嵐、洪水などの悪天候に襲われた。生産者は早生のサクランボの収穫を開始し、約5ユーロ/kgの順当な価格を獲得した。その後、過度の降雨により裂果を生じ、多くの果実が廃棄された。雨よけ栽培のサクランボでさえ、かなりの被害を受けた。イタリア北部の出荷シーズンの始まりは順調ではない。

プーリア州(南東部)では、2023年の第20週(5月中旬)に生産者に支払われた価格は4.50～6.50ユーロ/kgで、昨年よりも高い。全体として、2023年のサクランボ出荷シーズンは、昨年と比較して量がわずかに(約15%)少ないが、一方で果実のサイズは非常に良い。

カンパニア州(南西部)では、ここ数週間の悪天候により、裂果や腐敗が発生し果実の品質が損なわれたため、サクランボの出荷開始はうまくいっていない。その結果、小売業者らは少量の品質の良い果実のみを入手しており、価格は明らかに高い。

### スペイン：高温が遅れている早生品種を助ける

当初の予測では、開花が遅かったことからサクランボの収穫が遅れることが指摘されていたが、春の高温により、ほとんどの産地でようやく収穫が進んだ。これに最も該当する地域の1つはヘルテバレー地域(エストレマドゥーラ州)で、今年はお荷量が多い。これまでは例年のシーズン初めと同じく、供給は全般的に早生品種に限られていたが、今週からは、硬く、輸出に適した品種の収穫が始まった。さらに、気温が高いため収穫は通常より早く進んでいる。

暖かく雨が降らないためサクランボの品質は高いが、成熟が急速に進んだため、早生品種は直径がやや小さい。中生及び晩生の品種については、生産者らは通常サイズを期待している。市場は出始めのサクランボを大いに歓迎している。いつものように、供給が増え始めるまで価格は非常に高い。サクランボ市場がどのように進展するかを業界関係者が本当にわかるのは、スペインや他国の産地の大部分から入荷し、価格がかなり調整される6月になってからである。地中海沿岸のほとんどの国では、今年は豊作のようである。

ある種苗業者によると、極早生及び早生品種では、従来品種の大部分が、果実がより硬く、より均質な品種に急速に置き換えられている。

### ギリシャ：新しい市場に照準を合わせる

今年、ギリシャはサクランボの豊作が見込まれる。これは、特に中早生品種よりも後に当てはまる。全体として、今年は霜の問題がなかったため、昨年よりも出荷量が多い。

ギリシャのあるサクランボ輸出業者は、「ギリシャ産のサクランボはヨーロッパ市場で評価を得ている。残念ながら、ここギリシャでは、国内でサクランボの梱包・出荷ができないため、ほとんどの輸出業者は、農場から直接イタリアとルーマニアに大量に販売している。その結果、ギリシャ産サクランボはヨーロッパ市場でイタリア産またはルーマニア産として出回る」と述べた。

ギリシャのサクランボ輸出業者はドイツ市場に参入したいと考えているが、ほとんどすべてのヨーロッパ産とトルコ産のサクランボがそこに集まるため、競争は非常に激しく、ギリシャ産のサクランボはセルビア等、単に生産コストが安いだけの他の輸出国と価格で競争することができない。ギリシャの誰もが参入したい他の市場はフランスとイギリスであり、どちらも大きな市場で、多くの可能性がある。

### トルコ：小玉の需要が増加

現在の園地の状況を見ると、今シーズンは、トルコ全土の産地における果実の品質、量の多さ、出荷期間の長さの点で、かなり有望である。開花期は良好で、霜や雨による大きな被害もなく、園地での着果量は多いようだ。

第21週(5月下旬)にはヨーロッパ向けの陸上輸送用と、湾岸諸国や東アジア諸国などに向けた空輸用の梱包を開始する予定である。出荷シーズンは第32週(8月上旬)まで続くと思われる。トルコのある輸出業者は、「梱包資材のコストと人件費の増大の二つが、今シーズン弊社にとって最も大きな課題となりそうだ。これは、過去数年間国内でインフレが抑制できていない結果だが、これらの課題が弊社の事業に与える影響はごくわずかであると考えている」と説明した。需要と価格を見ると、現在の市場は大玉よりも小玉を求めているようだ。小型サクランボの需要は常にあったが、ここ数年でこの需要の増加傾向が見られた。

### 北米：出荷が遅いスタート

カリフォルニア州では8百万箱以上の出荷が予想されているが、早生品種の出荷は寒さのために2週間半～3週間遅れて始まった。これは、メモリアルデーの祝日に向けて生産者と梱包出荷業者に圧力をかけ、ある出荷業者は、小売業者は祝日に向けた販促活動に必要な量を手に入れられないと言う。出荷の最盛期は、5月の最終週/6月の第1週から7月4日までである。これは、10.5列サイズ(直径1インチ)のサクランボで一箱95～100ドルと非常に高いスポット市場価格を意味する。5月15日から6月5日にかけて、スポット市場の価格は一箱25ドル以上下がると予想されている。

太平洋岸北西部の生産者と出荷業者は、2022年の1,240万箱をはるかに上回る推定2,000万～2,100万箱のサクランボを見込んでいる。ダークスイーツ品種の出荷は6月12～15日に始まり、レーニア品種は6月22～23日に始まると見られる。出荷シーズンは7月中旬ないし下旬まで続く。ある出荷業者は、「販促に取り組めるだけの出荷量が得られる。2,000万～2,100万箱の果実を収穫すれば、サクランボは夏の間ずっと競争力のある価格になるだろう。」(20ポンド(約9kg)/箱)

ブリティッシュコロンビア州(カナダ)のサクランボ園の大部分は開花を終えた。そこでも出荷シーズンの開始は遅くなっている。ある出荷業者は、「開花の開始は約2週間遅れたが、現在は気温が高くなっており、生育がほぼ確実に進むだろう」と言う。初期の兆候は、平年並みから良好な作柄を示しているが、兆候がより良く現れるのはこれからになる。